

## カリキュラム

機構施設名： 大分職業能力開発促進センター  
実施機関名： 株式会社日乃目

<b>B. 生涯キャリア形成</b>	<b>チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割</b>
<b>役割の変化への対応</b>	

<b>コースのねらい</b>	中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得する。
----------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
<b>講義内容</b>	1 職場の課題	(1) 課題発見と解決の全体像 そもそも課題とは何か、課題と混同しやすい問題との違いについて理解したうえで、課題解決を論理的に進めることができるフローの全体像を確認する。  (2) 課題設定の進め方 まず職場のあるべき姿の認識合わせを行い、そのうえで現状を把握して問題を特定し、取り組むべき課題を設定する方法(ロジックツリー、MECE)を理解する。  【演習】職場のあるべき姿と現状を認識合わせし、課題を設定するグループワークを行う。  (3) 課題解決の進め方 課題からロジックツリーやブレインストーミングといった手法により解決策を広く考えたのちに、マトリックスや評価表を用いて解決策を選択する方法を理解する。そして解決策が成し遂げられたか客観的に判断する指標(KGI・CSF・KPI)の設定方法を理解する。	1.5H
	2 求められる役割と能力	(1) キャリアを振り返る 社会人になってからのライフラインチャートを作成し、充実していた時期に何があってどう感じていたかを中心に振り返る。そのことでいままで何を大事にどのようなやりがいをもって仕事に取り組んできたかを再認識する。そのうえで経験により培った能力を考える。  【演習】ライフラインチャートを用いた個人&ペアワークを行う。  (2) 周囲からの期待を考える 中堅・ベテラン従業員に対する期待される役割は今までと変化していることを理解する。そのうえで関係者から期待されている自身の役割をそれぞれ具体的に書きだし理解を深める。  【演習】役割検討シートを用いた個人ワークを行う。  (3) 自分らしく期待に応える目標設定 自身の価値観や能力、そして期待される役割を踏まえた目標設定を行う。  【演習】目標設定シートを用いた個人&グループワークを行う。	1.5H
	3 アサーティブの基本	(1) アサーティブコミュニケーションとは アサーティブコミュニケーションの概要、メリット、3つのタイプを確認し、受け身でも攻撃的でもない、自分も相手も尊重するアサーティブコミュニケーションが関係構築に効果的であることを理解する。  (2) アサーティブコミュニケーションを実現するための土台 自分も相手も尊重するためには、自分自身の内面を整える必要があることを理解する。そして内面を整える2つのポイント(感情・認知のゆがみ)を理解する。  【演習】チェックシートを用いた個人&グループワークを行う	1.0H
	4 アサーティブな関係構築	(1) アサーティブな伝え方 I(アイ)メッセージやDESC法を紹介し、相手に配慮しつつ自分の気持ちや考えを伝えるコミュニケーションの手法を理解する。  【演習】IメッセージやDESC法を用いたペアワークを行う。  (2) アサーティブな聴き方 アサーティブに聴くための5つのポイント、そして相手の関心の在りかに関心を持って行う2種類の質問方式(オープン、クローズ)の使い分けを理解する。  【演習】「傾聴」「質問」のペアワークを行う。  (3) 相手のスタイルに合わせたコミュニケーション 人の言動を4つのスタイルに分けて分析したソーシャルスタイル理論を示し、自身や相手の特性と傾向を踏まえたコミュニケーションを取ることで、円滑な意思疎通ができることを理解する。  【演習】相手のスタイルごとに効果的なコミュニケーションを考える個人&グループワークを行う。	2.0H
<b>合計時間</b>			6.0

<b>カリキュラム作成のポイント</b>
演習を多く取り入れることで、参加者同士の相互理解が深まるように、そして研修内容を現場で実践できるように構成した。 周囲からの期待と参加者個人の価値観を重ね合わせることで、自身の期待役割にモチベーション高く取り組むきっかけとなるように構成した。

<b>訓練に使用する機器等</b>	
●機器・ソフトウェア(受講者用) 特になし	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) PC(講師用)・プロジェクタ・スクリーン・ホワイトボード・延長コード
●使用するテキスト 講師作成 オリジナルテキスト	●その他

<b>利用事業主に用意をを求める機器等</b>	<b>備考</b>
ホワイトボード・ホワイトボード用ペン(赤・黒・青) プロジェクタ・スクリーン・延長コード	